

地域まちづくり活動を対象としたクラウドファンディング活用支援事業の 試行第一弾に関する効果検証結果と今後について

1 進捗状況

別紙参照

2 おもいやり隊の効果検証結果の概要

(1) まちづくり団体へのアンケート結果（抜粋）	
事業全体の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ ものすごく大変でしたが、やってよかった。 ・ クラウドファンディング（以下「CF」という。）とはなにか、というレベルの私達がこの短時間で挑戦し、達成することが出来たのは、ARG や Readyfor、そして市役所の皆様のおかげだと思います。 ・ 資金調達だけでなく、私達を応援してくれる方が増えて感謝しかありません。
成功の効果的要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクト紹介ページの文章表現 ・ 友人・知人への直接周知 ・ Facebook 等の SNS での情報発信
支援者の内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に地域支援に興味がある方の支援が多く、購入型 CF ではあるものの、ほぼ寄附型に近い ・ 南区：21人 市内：68人 市外：21人 国外：1人 不明：6人
資金調達以外の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人的ネットワークが拡大した ・ 活動内容の PR、周知ができた ・ 団体のスキル・ノウハウが向上した
横浜市の関与の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・ CF 掲載文章の差し替えにおいて、助言してくれたおかげで文章がよくなり、目標達成につながった。 ・ 企業訪問に尽力してくれた。
事業の今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ CF とは何か、事前の勉強会があるといい
(2) クラウドファンディング企業へのアンケート結果（抜粋）	
目標達成の要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業訪問を行い、大口の支援が入ったことが達成の要因
大変だった作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクト紹介ページ作成のアドバイスの部分でかなり苦労した。
(3) 地域まちづくり課担当職員へのアンケート結果（抜粋）	
目標達成の要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトの紹介文を見直し、リターンの内容に企業向けを追加したこと ・ 人的ネットワークを有する影響力のある人（組織）が周知を支援したこと
大変だった作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体の士気を維持すること
事業の有用性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使徒の制限がなく自由に使える資金を調達できるのは有用性がある。
(4) ヨコハマ市民まち普請事業部会委員の見解	
事業全体への見解	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラウドファンディング企業の伴走支援のノウハウを蓄積してもらうべき ・ 対話（マッチング）の対象を拡大し、実績を積み上げるべき

3 事業実施結果からの評価と課題

(1) 所管課の評価

- ・プロジェクト紹介ページの作成が、まちづくり団体及びCF企業の双方から大変だったという意見があり、市職員が間に入り、団体の活動への思いや社会的な意義などについて翻訳することで結果的に成功に導くことができた。
- ・まちづくり団体とCF企業の双方の士気を継続して高め、一体的なチームビルディングを行う役割を市職員が担うことで、資金調達の成功率を高めることができた。
- ・CFには、資金調達以外での人的ネットワークの拡大、広報ツール、スキル・ノウハウの向上などの効果が認められ、まちづくり団体への支援ツールとしては有効である。
- ・当該事業により、市が、まちづくり団体に地場の業界団体（商工会議所や工業会等）や中間支援組織を紹介することは、CF企業にはできない要素であり、市が支援することで調達資金やネットワーク形成が円滑になった。

(2) 事業推進上の課題

- ・プロジェクト初動期については、市職員のサポートが一定程度必要であることから、支援業務の効率化が必要となる。
- ・CFを成功に導くための事前準備や心構えなどをまとめたもので、まちづくり団体に対して、資金調達開始前に説明する必要がある。
- ・地場の業界団体（商工会議所や工業会等）や中間支援組織との連携が有効なことから、経済局や市民局との情報交換や連携が必要となる。

(3) 事業全体の総括

- ・本事業の実施により市民満足度の向上と資金調達以外の有用な効果があると確認できた。
- ・資金調達の成功率についても初動期の支援を効率的に行うことで高めることが可能である。
- ・今後、マッチングの試行を継続し、事例を積上げながらPDCAサイクルを回していく必要がある。

4 当該事業の今後の展開（案）

- (1) 今回の第一弾プロジェクトの成功、効果検証結果による有用性、まち普請部会での議論を踏まえ、まち普請事業による整備団体の試行対象の拡大について検討します。

現在の対象	対象拡大
2013年以降のヨコハマ市民まち普請事業による整備団体（25団体）	ヨコハマ市民まち普請事業による <u>提案グループ</u>

さらに、地域まちづくり課が継続的に支援している以下の団体に対しても対象拡大を検討します。

- ・地域まちづくり推進条例に基づき市長の認定を受けた「地域まちづくり組織」
- ・横浜市エリアマネジメントに係る協定等の事務取扱要綱に基づき本市との協定を締結した「エリアマネジメント組織」
- ・その他地域まちづくりに関する活動団体で、市長が試行支援の対象として適切と認められる団体

- (2) 支援事業の効率化と今後のプロジェクトの成功率向上が図れるようCFの活用に関する手引き等の作成を検討します。

<別紙>

プロジェクト名	子育てママ達の挑戦！中村町にみんなで支え合う拠点づくり！		
まちづくり団体	おもいやり隊（NPO 法人 おもいやりカンパニー）		
ｸﾞﾗｯﾄﾞﾌｧﾝﾃｲﾝｸﾞ 企業	アカデミック・リソース・ガイド株式会社（以下「ARG」）、 READYFOR株式会社		
資金調達期間	2019年4月24日～6月28日	目標金額	180万円
達成金額（達成率）	189.5万円（105%）	支援者数	117人
支援状況	支援終了（効果検証済）		

プロジェクト名	世界一気軽な異文化体験「CASACOの世界の朝ごはん」レシピ本を作りたい！		
まちづくり団体	NPO 法人 Connection of the Children		
ｸﾞﾗｯﾄﾞﾌｧﾝﾃｲﾝｸﾞ 企業	株式会社朝日新聞社		
資金調達期間	2019年5月8日～7月14日	目標金額	100万円
達成金額（達成率）	111.1万円（111%）	支援者数	137人
支援状況	資金調達終了、プロジェクトは継続支援中		

プロジェクト名	つながりからおなかまへ！人が集う「まちのリビング」を作りたい！！		
まちづくり団体	つみれプロジェクト実行委員会		
ｸﾞﾗｯﾄﾞﾌｧﾝﾃｲﾝｸﾞ 企業	株式会社朝日新聞社		
資金調達期間	2019年11月21日～2020年1月31日	目標金額	100万円
達成金額（達成率）	27.7万円（27%）（11月26日時点）	支援者数	39人（11月26日時点）
支援状況	資金調達支援中		